

Medi-Wave^{メディウェーブ}ひょうご

For medical students magazine 2010 Autumn **10&** October & November



今年も「民医連の医療と研修を考える医学生のつどい」が宮城県仙台市を会場に行われました。

全国からの参加は430名。

テーマは「介護・福祉～医療者として『その人らしく』生きられる地域をつくろう～」。

“その人らしくっていったい何だろう” “今の自分にできることは？” などなど、熱い議論が交わされ、最後に医学生全員が「つどい宣言」を行い、感動を呼びました。



CONTENTS

- | | | | |
|----|------------------------------------|-----|-----------------------------|
| 2p | 2年目研修医に聞く
「一年目研修をふり返って」
K 医師 | 8p | 書評 |
| 4p | 医学生レポート「医学生のつどい」 | 9p | 読者のつ・ぶ・や・き... |
| 5p | 医学生レポート「サマーセミナー」 | 10p | 医療現場は今！ 生存権⑦ |
| 6p | 医療ニュース かわら版 | 11p | 大人気！ cross-words パズル |
| 7p | 海外医学部レポート | 12p | 奨学金制度のご案内 /
かんたん Cooking |

1年目研修を振り返って ～民医連での初期研修で得たもの～

③ K 医師

前回に引き続き、現在2年目の研修医に、医師としての道を歩き出した1年目研修について振り返っていただきます。じっくりお読み下さい。



東神戸病院 K 医師

09年4月

尼崎医療生協病院にて初期研修開始

10年10月現在

東神戸病院にて地域医療研修中

私の研修生活1年目は、尼崎医療生協病院で内科研修をスタートし、外科、整形外科と研修しその後東神戸病院にて救急研修をしました。

今回はこの1年間の研修を通じて感じたことを3つに絞って書かせていただこうかと思います。

まず、①受け持ちさせていただいた患者様に関しては、1人1人が自分にとっては初めての疾患の患者様が多く、どれも印象深いです。その中でもとりわけ尼崎医療生協病院で癌患者様の癌の告知から治療、そして緩和ケアまで長期間にわたり受け持たさせていただいたことは今でも印象深く心に残っています。患者様に対して、医師一人の力では何もできないこと、医療スタッフの様々な役割や協力の重要性、そして日本における癌患者の緩和ケアの問題点など、様々な視点から色々学ぶことができました。また医療と緩和ケ

ア-の視点の違いも衝撃な部分もありましたが、緩和ケア-という視点も身に付けることができました。

②尼崎生協病院では電子カルテ、東神戸病院では紙カルテというようなハード面から、ソフト面にいたるまでいい意味で、2つの形態の違う病院を経験できたことはとてもプラスになりました。

また、尼崎での基礎研修で医師としてのスタートをうまくきれたとともに、自分にとっては東神戸病院の救急研修の3ヶ月がいわゆるステップ期間としていろいろ経験できた、その後のモチベーションの持続や将来性に影響を与えたと思います。

最後に③研修指導からの面では尼崎医療生協病院、東神戸病院ともに指導医の先生が忙しい中、丁寧に指導して下さり、抜けている穴をきっちりチェックしてくださっておりとても勉強になりました。また、両病院とも、看護師さんはじめ薬剤師さんや技師さんに至るまでスタッフの方々が優秀な方が多く、どこにいても指導を受けられるので、その点は1人で困るということはありませんでした。また地域に根ざした研修ができたのも良かったです。

※K 医師の研修スケジュール

1年目	4月	5月	6月	7月	8月	9月
	総合研修(内科)					
	10月	11月	12月	1月	2月	3月
	外科		整形		救急	
2年目	4月	5月	6月	7月	8月	9月
	ER(選択期間)		麻酔(選択期間)			地域医療
	10月	11月	12月	1月	2月	3月
	小児科			精神科		産婦人科



K 大学3年 I さん

仙台が誇る、超肉厚な牛タン弁当から始まった医学生をつどい、会場には全国から集結したひと・ひと・人！医学生に医師に職員や他職種の方、総勢400名を超える規模の大きさに圧倒される間もなく、テーマ「介護・福祉」に沿って講演会、それに続く議論が繰り広げられます。

講演会のテーマで大きく取り上げられていたのが「その人らしく生きる」ということ。自立を促すというのは、「して差し上げる」のではなく、あくまでも「支援」であること。私たち医療従事者は、患者さんの生活背景を鑑みた多面的な医療を提供する必要があるのです。

講師の先生の熱気をそのままに、SGD=Short Group Discussionが始まります。



今日、この場で、たまたま一緒になった班のメンバーで議論を交わすというのですが、これにはかなりの度胸とエネルギーを必要とされます。しかし私を含めた初参加者が、輪の中うまく入り込めるような雰囲気を持っていく、実行委員やチューターさんの運び上手なこと！限られた時間の中で、学生が率直な感想や疑問を投げかけた後、共同組織の方の身近なエピソードや介護福祉関係の職場の方の現場の実情へと広がりを見せ、そして担当事務の方がその軌道修正、そしてそれにつながるルール作り、最後は学生の解決策模索というように、議論的は拡大されつつも、最終的に根幹に収束していくのです。

私の班で問題提起されたことの一つに、「その人らしいって何だろう？」とあったのですが、この根本的な問いに私たちは頭を悩ませました。数少ない診察などから読み取れる、医療従事者から見た患者さんの「その人らしさ」と思うものは、ただの理想像に過ぎず、その人の人生すべてを見ることはできない。また、患者さんが本来の姿を見せないかもしれない。「その人らしさ」を感じ取れる感性を磨くために、私たちは学生のうちにこのように考えを巡らせ、様々な人生経験を積まなければならないのです。



その他にも、さまざまな立場の目線からの介護のあり方や、初期研修から見る理想の医師像などの講演を聴いて、真剣に語り合い、医療と介護は切り離せない問題であることを痛感しました。そこから自分の医師としてのスタンスを具体的にイメージして言葉に紡ぐことで、また他の人の意思を聞きながら自分の理想と重ね合わせることで、それぞれが曖昧模糊な将来像を次第に固め、自分のモノにしていたのでした。

そしてお待ちかねの交流会。お酒も入りつつ、全国から集った人々と地元の話やら学校の話やら将来の話やら・・・夜更けまで語り尽くして、親睦を深める貴重な機会。何より、狭い地元大学には感じることでできないスケールの大きさ、全国各地の事情を知ること、自分を外からの目線で見つめ直すきっかけを与えてくれました。

濃い3日間を終えた今、「医学」もさながら、大学では学ぶことのできない「医療」をもっともっと勉強したい！というエネルギーで満ち溢れています。このパワーをさらなる学習へと発展させ、自分をより高め続けていきたいと思います。





医学生
レポート

サマーセミナー2010

兵庫民医連奨学生会議

はじめまして、サマセミ初参加のF大学医学部医学科2年生のNです。サマセミ終了後の9月に、担当のY氏から「サマセミのレポート書いてや」と仰せつかり、ありもしない文才をフル活用して書き始めたのですが、引き受けたことをいまさら後悔しています。さて本題に…今年のサマセミのテーマは“地域医療”と“医療崩壊”でした。



詳しいスケジュールはY氏にお任せするとして、兵庫県立柏原病院小児科医長の和久祥三医師と、“県立柏原病院の小児科を守る会”の丹生裕子氏の講演について簡潔にレポートしたいと思います。

小児科医がいなくなり小児科が閉鎖してしまうという危機は今の日本のいたるところで発生していると思います。しかし、ここ丹波篠山で

小児科を受診する子供を持つお母さんたちが立ち上がり、医療、行政、住民(患者)の各方面に働きかけ、危機を乗り切ったのです。講演では和久医師からは小児医療が崩壊寸前だった当時の心境や、地域医療を再生する上で考えなければならないこと、小児科を守る会の方からは医療崩壊を目の当たりにしたときの衝撃や、行政から心無い対応を受けてもあきらめなかったこと、地域医療を支えるために行っている活動など、ここでは書ききれないほど多くのことを学ばせて

いただきました。

その中でも一番印象的だったのは和久医師の「地域で医療を育てる」という言葉です。ここでは地域=住民(患者)+医療+行政と捕らえてください。住民だけが頑張っても行政など

と超えがたい壁があります。医療者だけが突っ走っても伝わりません。行政が上から押し付けるだけでもきっとダメです。3者それぞれが今できることをすることが大事だということだと思いました。

地域医療というどうしても僻地や地方というイメージが先行してしまいます。しかし“地域”という言葉は将来自分が勤務する“地域”をとらえると他人事ではないですね。そんな視点を持って地域医療を学んでいきたいと思います。

♪ **タイムスケジュール** ♪

8月28日(土)
柏原病院見学、講演

講師 丹生裕子氏
和久祥三医師

BBQ+大交流会

8月29日(日)
学生発表、奨学生会議

SUDの様子よー！



学生発表！

など超えがたい壁があります。医療者だけが突っ走っても伝わりません。行政が上から押し付けるだけでもきっとダメです。3者それぞれが今できることをすることが大事だということだと思いました。

地域医療というどうしても僻地や地方というイメージが先行してしまいます。しかし“地域”という言葉は将来自分が勤務する“地域”をとらえると他人事ではないですね。そんな視点を持って地域医療を学んでいきたいと思います。



次回の冬のテーマは「行政」となりました！！
新しい医学生との出会いを待っています☆☆

夕食はBBQ！楽しく交流出来ました(^O^)/



ホメオパシーって何？

最近、日本の科学者の代表機関である日本学術会議が「ホメオパシー」について会長談話を出しました。「ホメオパシーには治療効果はない、荒唐無稽な理論」というのです。

「…ホメオパシーって最近きくけど、何なの？」

「ギリシア語のホモイオス（同種の）パトス（病気・苦痛）が語源。1790年にドイツの医師・ハーネマンが、当時マラリアの薬として使われていたシンコナという薬を健康な時に飲んでみたところ、かえってマラリアと似たような症状が起きた。そこでハーネマンは〈似た症状を起こす物は治療薬〉という『類似の法則』を提唱、さらに〈その薬は薄めたほうが効果は大きく、副作用は小さい〉〈薄める時にはよく振れ〉と主張した。そういう理論に基づいてつくられるレメディと呼ばれる〈薬〉を飲ませるのがホメオパシーだ」

「何だか効きそうに思えないな。〈似た症状〉と治療効果との関係が分からないし、薄めたら副作用もないかわりに効果もなくなるだろうし…水を飲んでいるのと同じ、何もしないのと同じだよ。でもそれがなんで良くないんだろ？」

「〈ホメオパシーに惑わされてちゃんとした治療を受けない〉からだよ。ホメオパシーには主流医学に対するアンチという面があって、科学技術に対する不信と無知につけこんでいる」

新生児ビタミンK欠乏性出血症死亡事故 2010年5月・山口で、ホメオパシーを信じる助産師が、出血を抑える効果をもつビタミンKの変わりにレメディを新生児に投与したため、新生児がビタミンK欠乏症で死亡した事件。

あかつき問題 2010年5月・東京で43歳の女性が悪性リンパ腫で死亡。ホメオパシーを施す「あかつき療術所」の影響を受けた女性がちゃんとした治療を受けずに容態悪化。それもホメオパシーのいう〈好転反応〉と信じ、最終的に死亡した事件。

愛媛ホメオパシー事件 2010年7月、「ロイヤル・アカデミー・オブ・ホメオパシー」サイトの掲示板に、腎臓病の子どもを持つ母親から「病院の薬は飲ませていない、レメディのためにむくみや蛋白尿といった〈好転反応〉が出ている。〈好転反応〉に対応したレメディはないか」と書き込みがあった。これを見た医師・市民が愛媛県警に通報、ちゃんとした医師に診てもらった模様。

「…そんなものでも信じる人がいるのはなぜだろう？」

「放っておいても治った人・心理的な原因だった人などが〈ホメオパシーのおかげで治った〉と思っていることがある。ちゃんとした検証ではホメオパシーの治療効果を支持するものはない」

「愛媛のお母さんもとりあえず医師に診せることにはなったけど、ホメオパシーのおかしさを納得してなのか、警察に言われたからなのか、分からない。正しい医学・科学の知識を普及していくのも、医師の仕事かもしれないね」

SSくんのEUブルガリア ブレーベン医科大学在校生レポート

EU加盟国ブルガリアブレーベン医科大学に在籍する医学生のレポート。ではどうぞ！



首都ソフィア

街並みは非常に都会的で、マクドナルドやスターバックス、アメリカのドーナツチェーン店ダンキンドーナツなど外国資本の有名どころが数多く見られ、ブレーベンとは違う印象です。ブレーベンにはマクドもスタバもダンキンドーナツもありませんから（苦笑）。連休中で、なおかつ首都ということもあり、この日は人が溢れていました。人通りの穏やかな道で写真を1枚。この通りには路面電車が通っており、10分に1回程度の割合で電車が往

来します。

この日は医学書を買う目的もあったので、本屋さんの事も少し書きたいと思います。ブレーベンには洋書、特に医学書を置いてある本屋さんを見つけるのが難しいので、アマゾンを使いネットで注文するか、本屋さんに置いてある医学書を買うしかありません。

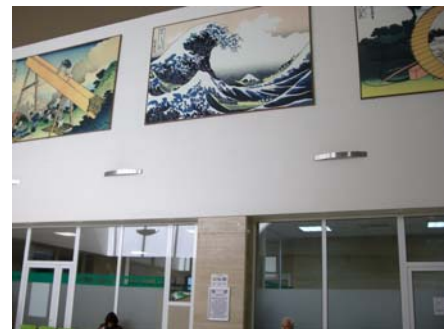
しかしソフィアでは医学書を置いてある本さんが何軒かあるので値段を比較し、中身を確認してから購入することができます。キャッシュカードを使って買うことももちろん可能です。本屋さんに限らず、スーパーや服屋さんなどいたる所で使えます。洋書の医学書は、日本の本屋さんでもその値段のまちまち加減にびっくりします。ブルガリアでは、物価も去ることながら医学書も安かったです。素晴らしい！



ソフィアの総合病院

ブレーベン医科大学には4, 5年次の夏休み期間各1カ月間と6年次の約10カ月間、世界のどこかで病院実習をしなくてはならないという決まりがあります。世界のどこかで…と言うと果てなく壮大なイメージがありますが、実習前に学生から病院へ受け入れ願いを申し込み、病院からの了承を得ることが必要であること、渡航や宿泊・食事費用などの金銭的問題を考えると、現実的には「自分が学んでいる学校の附属病院」、「自分が学んでいる国の（英語が通じる）総合病院」、「英語コースを設置しているEU圏内の大学病院」、「母国日本の総合病院」などに絞られてきます。日本の医学部と比べると非常に特殊な制度ですが、折角海外で学んでいるので、この状況を楽しんで、色んな事を体験し、自分の血肉にしたいと考えています。

今回、ソフィアでブレーベン医科大学生の受け入れもしている、ソフィア徳洲会病院も見学してきました。やはり造りが日本の病院なので、日本から学びに来た私たち日本人医学生にとっては親しみやすいです。最上階にはカフェテラスがあり、そこでご飯を食べました。病院で勤務する日本人の医師は現在いらっしゃらないようですが、この日は病院経理や大使館の日本人の方たちと偶然お会いし、話をしました。ブレーベン医科大学の日本人医学生の話はよく知っておられたのでびっくりしました。支払い口の近くにある待合室には、日本の絵画が飾られていました。では、また次回のレポートでお会いしましょう。



現在、ブレーベン医科大学に通うSSくんは異国の地で勉学に励んでいます。

続々とレポートが届いていますので皆さん乞うご期待！

「被爆者医療」「原爆症集団訴訟」に 関わった医師たち

～全国保険医団体連合会発行「医師たちの原爆症 被爆者医療に関わって」を読んで～

広島・長崎に投下された原爆によって、これまで多くの被爆者の方が苦しんでこられ、65年経った現在もそれは続いている。本書では、被爆者医療に深く携わってこられた4名の医師によって、医師としての被爆者との関わり、原爆症の実際、原爆症集団訴訟でどのようなたたかいをされてきたかが書かれている。

実際に被爆者の方が訴えられる被害の実相によって、本来は原爆症認定がされるべきだが、軍事的・政治的な視点で原爆の被害は矮小化され、認定の支援団のなかでも、被爆者の方が実際に感じている被害を理解できないこともあり、矮小化された視点を広げ、かつ医師として考える原爆症を広げなければならないと述べられている。

たたかいの中で原爆症認定の基準は広がっていき、原告の勝訴が続く中、2009年8月6日に、「原爆症認定集団訴訟の終結に関する基本方針に係る確認書」が国と原告（日本被団協）の間で交わされ、集団訴訟は解決に向かった。しかしすべてが解決したわけではなく、原爆症認定制度の一層の改善、新たな原爆症申請者の認定、被爆被害の影響の研究、被爆によってうけた心の傷「トラウマ」に対する医療など、いまだ多くの課題が残されている。原爆が落とされた唯一の国として、核兵器の廃絶への取り組みを進めることは不可欠であるし、一個人として行動できること、協力できることを見つけ、実践をしていくべきと本書を読んで強く感じた。



※「医師たちの原爆症 被爆者医療に関わって」については、下記ホームページで公開されています。
全国保険医団体連合会 <http://hodanren.doc-net.or.jp/>

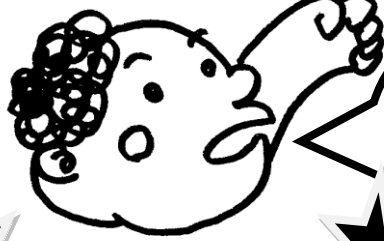
家庭医を目指す 医学生のみなさん！

兵庫民医連家庭医療後期研修プログラム 阪神コース プログラム説明会

2010年11月27日（土）15：00～

内容：学習企画、プログラム説明、後期研修医の一日など

- ※ 会場は尼崎医療生協病院会議室を予定しています。
- ※ 参加を希望される方は事前に兵庫民医連医学生担当までご連絡ください。



どくつぶ〜♪

もう秋だし、このコーナーも
リニューアルだ！ぼくがつぶやくど！

8&9月号は特に興味深い記事が多かった
です。 D.N:黒ムース さん
→嬉しい限りでございます…
ありがとうございます(TOT)/〜

夕つといに便乗してたこ焼きが人気上昇となるの
か…? D.N:さくら さん
→人気上昇したとこあつたら教えて〜

海外行って勉強したい。クラブに追われて出来ない!
D.N: ひょうたんつき さん
→クラブに追われるとは恐ろしい光景だ…(汗)

いよいよ夏休み!!猛暑に負けず受験勉強
頑張るぞ! D.N:ラン太郎さん
→夏休み明けちゃったけど、頑張れ〜(〇_〇)

国試直前にはクロスワードを溶かしてもら
う余裕もなくなるだろうか?否…
D.N:あだち さん
→国試も大事だけど夏抜きも大事だ!!

私が通う某国立大学でも留年問題は深刻です。ただ、“受験
の時より勉強が大変”というのはわかって入学している以上、
勉強はつづけないといけなさと感じています。
D.N:poco a poco さん
→確かにどこの大学でも問題になってるね。

医師体験で血圧を測らせてもらいましたが、何回も
失敗してしまったので、医者になれるか心配です。
D.N:あーのるどさん
→大丈夫だよ〜。問題ナッシング。

今回からリニューアル。

みんなの意見も聞きたいんだ!!

ご意見ちょうだい。ハガキもちょうだい♡



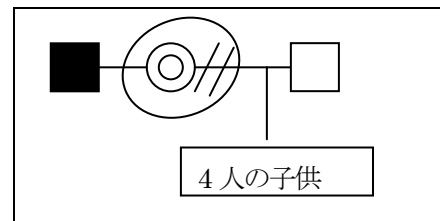
シリーズ 医療現場は今！生存権⑦

兵庫民医連SW委員会

言語障害発症で分かった金銭搾取

氏名：A氏（女性） S9年生まれ73歳
保険：生活保護・介護（要支援2→要介護2）
病名：腰椎圧迫骨折H20.3（3月～5月回復期リハビリ病棟入院）
脳梗塞H20.6 言語障害・高次脳機能障害・麻痺なし
（7月～回復期リハビリ病棟入院）

家族：50年前に離婚。以降子供たちとは連絡せず。内縁の夫と12年前に死別
自宅環境：3月の圧迫骨折の際に、リハビリ職員援助で手すりやトイレ周りを改修済み。
フロなしの文化住宅



【入院前の様子】

夫と離婚後、内縁の男性と同居していたが12年前に他界。身寄りがなく、介護サービスを使いながら一人での生活を続けてこられた。H20.3に腰椎圧迫骨折で入院するが、身の回りのことは自立しており、近所の友人が数人訪ねてくるなど交友関係も良好に見えた。入院中の洗濯や金銭の出し入れは友人に頼んでいた様子で、特に金銭管理の援助なしに5月には杖で歩くまでに改善し退院された。

【入院以降経過】

H20.6脳梗塞でB病院へ入院。言語障害で貴重品類が不明な状態になっており、B病院MSWとケアマネ・福祉CWが自宅へ訪問し、6月入院直後ATMから15万円が抜き取られていることが発覚する。残高0円、キャッシュカードは紛失、現金は3万円所持のみで、7月に当院回復期リハビリ病棟へ転院された。当初言語障害で会話もなかなか通じない状況であったため、現金と通帳はMSW預かりにした。通帳内には預金もなく誰かに取られる恐れもなかったことから、生活費は直接福祉事務所より病院宛の現金書留に変更、必要な支払いはMSWが行うことでA氏・ケアマネ・福祉CWと確認。A氏自身は「何がどうなっているか覚えてない」と、キャッシュカードを誰に預けたのかも分からない状態にあり、今までの金銭管理がどんな状態だったのか誰も分からなかった。以前面会に来ていた友人も、B病院入院から一度も来院されず人物も不明なままのため、キャッシュカードを預けたのか盗まれたのかも不明なままであった。

A氏が一定の会話が可能になったため、福祉CW・MSW同行にて銀行へ『紛失届』と『キャッシュカード再発行』の手続きを行いに行った。銀行指示で警察にて盗難届け事情聴取も行ったが、A氏は金銭に関してだけは記憶がなく、捜査が出来ずに15万円の行方は不明の状態でも断続する。以前の生活をよく聞いてみると、近所の住人が「500円貸して。千円貸して。」など何度も通ってくることもあり、キャッシュカードもそのうちの誰かが持っている様子だった。今後A氏の病状から言葉の間違いで千円と1万円を騙し取られることも考えられ、金銭管理を『りんりんネット』へ依頼。必要な生活費を週ごとに小額で渡してもらい、万が一誰かに渡したとしても小額で済むようにA氏了承のもとで契約となる。

金銭管理が公的機関で可能になったためA氏のリハビリ状況から退院調整を進め、今後は介護保険でデイサービスと毎日のヘルパー、通院リハビリで自宅へ退院する方向になった。その間に数ヶ月空けた自宅をMSWが訪問すると、水光熱費の支払っていたものの遅れ遅れだったためか、電気が止められ冷蔵庫などが使えない状態になっていた。この状況では退院しても生活が困難だったため、福祉CWへ連絡し自宅掃除に入る。炊飯器などの使えない調理器具は福祉からの購入許可を得て、冷蔵庫は入院中に余った現金で購入するか検討した。ヘルパー事業所なども掃除の協力可能と連絡があったため、退院までに準備をする予定になっている

【考察】

身寄りのない独居の方が突然入院された時、水光熱費や家賃など払う術をなくしてしまう。その時に誰が援助してくれるのか？今回は、福祉CWやケアマネジャーなど周囲に気づく人間が多く、それでも足りずでトラブルは発生している。入院された事情を理解し対応する業者とそうでない業者もあり、プライバシー保護が足かせになって対応が困難になっているように思う。また、言語障害から初めてご本人がお金を何者かに盗られていることがわかったが、未だに誰か分からないままのために予防策を立てるしか方法が見出せずにいる。介護サービスが入り安全確認をしても、金銭をどんな風に使っているのかまでは分からない。りんりんネットを使っても管理には限界があり、ご本人の意思もあってなかなか進まない状況もある。身体的な問題だけでなく、社会的問題にどう援助するのかを介護保険制度などでより充実していくよう働きかける必要があると思う。

Medi-Wave CROSS-WORDS



今年は夏が長かった・・・。
おかげさまで、夏バテも長かつた・・・。
次は冬に向けて行かないと。
勉強も体力作りも大事ですね。
頑張って春へ向かいましょ～。



1	2	3	4	5	6		
7				8			
		9					10
11			12				
		13				14	
	15		16		17		
18			19	20			21
22				23			

網掛けの6文字を並べ替えると答えになります。
正解者には抽選で図書カードを進呈！！
同封のハガキに答えを書いて送って下さいね。

クロスワードの締め切りは12月1日までのです。(当日消印有効)

＝答え＝

○ ○ ○ ○ ○ ○ ○

→ よこのカギ

- 仲の良い夫婦に例えられると。
- 円錐形の袋状の網の裾におもりのつけたものを、魚のいる水面に投げ広げ、かぶせて引き上げる漁法。
- 中国から伝来し、日本で発展した漢方医学。
- 馬の売買や、売買の仲介をする人。
- 代表的な大衆魚。シメ○○。
- ピラとも言います。
- マグロの刺身で最も高価な部位。
- 新潟県中北部の信越本線・羽越本線・磐越西線の交差する交通の
- 父母の姉・妹。
- 日本三大松原は、三保、虹と○○。
- のろうこと、呪詛。
- 2009年度アカデミー賞ドキュメンタリー賞を受賞した映画、「ザ・コープ」は和歌山県太地町の伝統的な○○○漁を盗撮したものとして批判
- カテーテルを冠動脈に挿入し、膨らませて狭窄部分を拡張する。経皮的冠動脈形成術。



ル	ノ	ワ	ール	コ	ツ
ツ	ド	イ	カ	ー	ブ
ポ	マ	タ	ー	ラ	マ
デ	ニ	チ	エ	チ	
ハ	ゲ	ル	マ	ア	シ
イ	チ	チ	リ	タ	ピ
カ	カ	カ	ワ	チ	
ラ	ー	メ	ン	カ	ン
				ユ	

↓ たてのカギ

- 自宅で妻がこう呼びます。
- 糸のように細い雨。細雨。
- 丑(うし)の日に鰻を食べる風習がある。
- 関節・骨・筋肉のこばり・腫れ・痛みなどの症状を呈する病気。
- 長野県北西部の地名。そば、スキー、ハイキングで知られる高原。
- 悪い道。ひどい道。
- 今年3月に日本で98番目の「空港」として設置された○○○○空港。
- 世界遺産である知床半島の観光基地となっている町。
- ハワイの人が首にかける花輪。
- 元はアイヌの保存食で、秋鮭を半身におろして皮つきのまま縦に細かく切り、海水で洗って潮風にあてて干したものだ。
- 虚無的。虚無主義的。
- アフリカのサイにはありますね。
- オリーブ○○○。アロマ○○○。
- 文字をそろえて書くために、紙上に一定の間隔で引いた線。
- ウマ科の哺乳類。肩高約1.2メートル。耳が長く、尾の先に房毛をもつ。
- 阿波踊りチームのことです。



<ヒント>
やはり、大事にしないとね！ありがとう。

* 前号の答えは「ワールドカップ」でした。次は4年後だ！

奨学金貸付制度のご案内

奨学生制度の主旨

民医連の奨学金制度は、卒業後、民医連の医療活動に参加しようとする医学生の要望に応じて経済的援助を行うことを目的としています。

制度のあらまし

☑返済の免除

民医連の病院・診療所で貸与期間と同期間勤務された場合、返済が免除されます。

☑奨学生になったら...

奨学生は、将来の民医連の医療を担う医師となるため、医学・医療の勉強に励むとともに民医連綱領をはじめ民医連の行っている「患者の立場に立つ医療活動」を学びます。また今の医療をめぐる様々な諸問題を含め、広い視野をもった医師として成長していけるよう広い学習に取り組みます。

具体的には、①民医連の病院実習に参加 ②奨学生会議に参加 ③民医連が主催する学習会への参加

手続きについて

申請を希望される方は、下記の兵庫民医連・医学生担当までご連絡ください。

面接の上申請手続き等について説明します。申請書類は保証人・履歴書・本人の申込書などです。



奨学金の月額

1・2年生	50.000円
3・4年生	60.000円
5・6年生	70.000円

兵庫民医連栄養科が薦める！

かんたんCooking

10&11月のメニュー 「簡単ミネストローネ」 ※今回のメニューは

野菜ジュースで簡単ミネストローネ！！

～簡単においしく野菜が撮れる一品です～

高齢者総合福祉施設 あまの里 管理栄養士
山本 愉理和さんからの薦めです。

作り方：

- ① 野菜を細かく刻み、ハム又はベーコンを1cm角に切り、鍋にオリーブオイルを入れ熱し炒める。
- ② ①に野菜ジュースを加え、コンソメ、塩・コショウを加え煮込み、野菜が柔らかくなったら出来上がり。

★ コクを出すために、お好みでチーズを食べる直前に加えるとおいしいですよ。

★ 冷蔵庫に中途半端に残った野菜を入れて作ってみてはいかがでしょう？



材料1人分

野菜ジュース・・・100cc
(伊藤園1日分の野菜ジュース)
キャベツ・・・2枚程度
玉ねぎ・・・1/2個
にんじん・・・1/2本
ハム(ベーコン)・・・1枚
オリーブオイル・・・小さじ1/2杯
塩・コショウ・・・少々
コンソメ・・・1/2個
チーズ(お好みで)・・・適量
パセリ(あれば彩りに)

■発行：兵庫県民主医療機関連合会 〒650-0047 神戸市中央区港島南町5-3-7

フリーダイヤル(無料)：0120-404-310 FAX：078-303-7353 Mail：igakusei@hyogo-min.com

大倉山医学生センター Tel&Fax：078-578-6373 武庫川医学生センター Tel&Fax：0798-40-3155